

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	<input type="radio"/>			十分なスペースを確保している。
	2	職員の配置数は適切であるか	<input type="radio"/>			子ども1名に対し、職員1名を配置しており、配置基準以上の体制をとっている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、情報伝達等への配慮が適切になされているか	<input type="radio"/>			刺激となる要素をなくし、必要な情報を提示する事により、障害特性に合わせた情報伝達を実施している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	<input type="radio"/>			常時、換気をし、空気清浄機を設置して、清潔な環境維持に努めている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	<input type="radio"/>			計画した目標に対して、結果を振り返り、日々改善するよう努めている。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	<input type="radio"/>			保護者向けの事業所評価は毎年実施。 意向やニーズは事業所内で共有し、業務の質の維持に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	<input type="radio"/>			ホームページにて公開している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		<input type="radio"/>		具体的な外部評価は未実施。 適格な第三者を検討する予定。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	<input type="radio"/>			オンラインにて、公認心理師による研修を実施した。
適切な支援の提	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	<input type="radio"/>			個別面談の際、アセスメントを行い、内容を職員で共有している。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		<input type="radio"/>		保護者からの聞き取りシートを活用しており、それに準じたアセスメントを実施。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		<input type="radio"/>		面談で聞き取りをしたことを踏まえ、保護者のニーズと、子どもの課題を絞り、保護者と子どもの関係性を重視して作成している。 また、必要に応じて、公認心理師に相談をし、具体的な支援内容を設定している。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	<input type="radio"/>			個人記録に最新の個別支援計画を綴じ、情報共有を図っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	<input type="radio"/>			毎月、活動プログラムの振り返りを実施し、それに基づいて、プログラムの立案をしている。
	15	活動プログラムの目的を共有できているか	<input type="radio"/>			活動のねらいは事業所で共有している。

児 供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		個別活動は、保護者ニーズと子どもの課題に合わせた活動を実施。 集団活動は、社会性の向上を目標に活動を実施。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		デイリーで、ミーティングを実施。 職員配置、カリキュラム内容の確認・留意点等を職員間で共有している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		デイリーで、ミーティングを実施。当日の出来事、子どもの様子等を共有し、次回につなげる情報共有をしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		当日の様子、自由時間の様子、目標に対しての行動等、具体的な情報を記録している。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		半年おきに、保護者と面談を実施。 新たな課題や、継続的に行う支援等を判断している。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		現在、該当児はいないが、基本的に児童発達支援管理責任者が参画。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		機会がなく行っていない。今後必要に応じて検討していきたい。
	23	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	該当児がない為、未実施。
	24	移行支援として、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか		○	該当児がない為、未実施。
	25	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	現在、機会がないが、今後、必要に応じて情報共有をしていきたい。
	26	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか		○	参加の機会があれば、進んで参加していきたい。
	27	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		子どもの送迎時や電話・メール等で、情報共有をしており、共通理解を持つよう努めている。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	28	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約の面談時に説明をおこなっている。
	29	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		半年に1度、保護者と面談を実施し、新たな課題や、継続的に行う支援を確認。 その都度、目標と支援内容を共有している。
	30	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		保護者が気軽に相談できるように、メールや連絡ノート等のツールを活用している。また必要に応じて、電話や面談等も実施している。
	31	保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○		新型コロナの為、今年度は未実施。 感染状況を考慮し、保護者支援の一環として情報共有の場の提供は継続していきたい。
	32	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		活動中のトラブルなどは、極力具体的に周知している。今後、苦情があった場合などは、適切に対応していく。

	33	定期的にHP等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			集団活動のカリキュラムを毎月配布している。また、定期的にホームページにて活動のブログを公開している。	
	34	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			鍵付きの書庫にて個人情報は管理している。職員に対しては、雇用契約時に、情報管理についての説明を実施。	
	35	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			極力、子どもに合った伝達方法を実施している。	
非常時等の対応	36	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			運営規定にマニュアル化したものを添付して保護者と共有をしている。年に1度、子どもと一緒に避難訓練を実施している。	
	37	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○				
	38	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか		○			契約時、保護者と子どもの健康状況を共有して、必要に応じて、指定の様式に記載してもらっている。
	39	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の指示に基づく対応がされているか	○				契約時に保護者から、受けた指示に基づき対応している。
	40	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○				デイリーのミーティングで、ヒヤリハットの洗い出しを行い、共有している。
	41	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○				外部から公認心理師を招き、虐待防止に関する研修を実施。
	42	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○				他害や危険な行為が見られる等については、保護者と相談し、対応を共有し、個別支援計画へ記載している。